

NEWS RELEASE

2009年12月2日

中国に半導体機器事業(大型基板搬送用ロボット)の生産・サービス会社設立

株式会社ダイヘン(取締役社長:田尻哲也)は、薄型テレビ等の需要の拡大を背景に液晶パネル生産ラインの建設計画が進む中国で、今後需要の増加が見込める液晶/太陽電池製造装置向けの大型基板搬送用ロボットについて製造・サービスを行う現地法人を設立いたしました。

設立した現地法人は、江蘇省常熟経済開発区内に所在し、2010年5月から生産を開始する予定です。

ダイヘンは中国国内に、溶接機事業では生産会社(2社)、販売会社(1社)を、電力機器事業では生産会社(1社)の計4社を既に保有し、中国進出を果しておりますが、半導体機器事業では初めての現地法人設立となります。

今後、計画通りに生産、サービス事業の体制を立上げるとともに、受注活動を積極的に展開し、2014年度には10億円の売上高を目指してまいります。

<新設子会社の概要>

1. 会社名 達誼恒精密機械(常熟)有限公司
DAIHEN Advanced Machinery (Changshu) Co., Ltd.
2. 所在地 中国・江蘇省常熟市 江蘇常熟経済開発区沿江工業区
3. 資本金 400万USドル(当社100%出資)
4. 投資総額 800万USドル
5. 設立 2009年12月(生産開始:2010年5月予定)
6. 事業内容 液晶/太陽電池製造向け大型基板搬送用ロボットの生産、修理・オーバーホール
7. 工場規模 敷地面積:約6,500㎡ 建屋面積:3,765㎡
8. 生産規模 100台/年(2014年計画)
9. 人員 約50名(2014年計画)
10. 役員 董事長 越野 滋多(非常勤)
董事・総経理 平原 頼夫
董事 西森 康博(非常勤)

News Release

■中国市場の現状と進出のねらい

中国では、家電下郷などの景気刺激策により薄型テレビ市場が急激に拡大していることや、自国での薄型パネル生産を強化する政策を推し進めていることにより、日韓台の主要パネルメーカーや中国現地のパネルメーカーは第6～8世代パネルの大型投資を次々と計画し、2011年以降の稼働を目指しています。

このような状況から、今後中国で大幅な需要の増加が見込める液晶製造向け大型基板搬送用ロボットの生産を行うとともに、中国現地でのサービス体制を整備することにより、顧客の満足度向上を図り、売上拡大に繋げてまいります。

また、既に中国国内の工場に納入されオーバーホール時期を迎える中小型ロボットのサービスにおきましても、迅速な対応により需要を喚起していくねらいであります。

■今後の事業展開と当期の業績に与える影響

今後は、2010年5月の生産開始を目指し、生産ライン立上げおよび受注活動に取り組んでまいります。事業の本格立上げ後につきましては、同社を核として北京地域や深圳地域のサポート体制も強化して参ります。

なお、本件による2010年3月期の連結及び単独の業績への影響は軽微であります。

以上